

記者発表資料

**鶴見川多目的遊水地で史上2番目の流入量を記録！**

**～4月6日の局地的な豪雨で効果を発揮～**

4月6日夜から深夜にかけて、急速に発達した低気圧の影響で鶴見川流域では大雨となり、亀の子橋地点では避難判断水位(6.70m)を越える水位(6.77m)を記録しました。

この出水において、鶴見川多目的遊水地では、史上2番目の流入量(約92万 $m^3$ )を記録し、亀の子橋地点で約60cmの水位低減効果があったと推定されます。



**発表記者クラブ**

竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会、神奈川県政記者クラブ、東京都庁記者クラブ

**問い合わせ先**

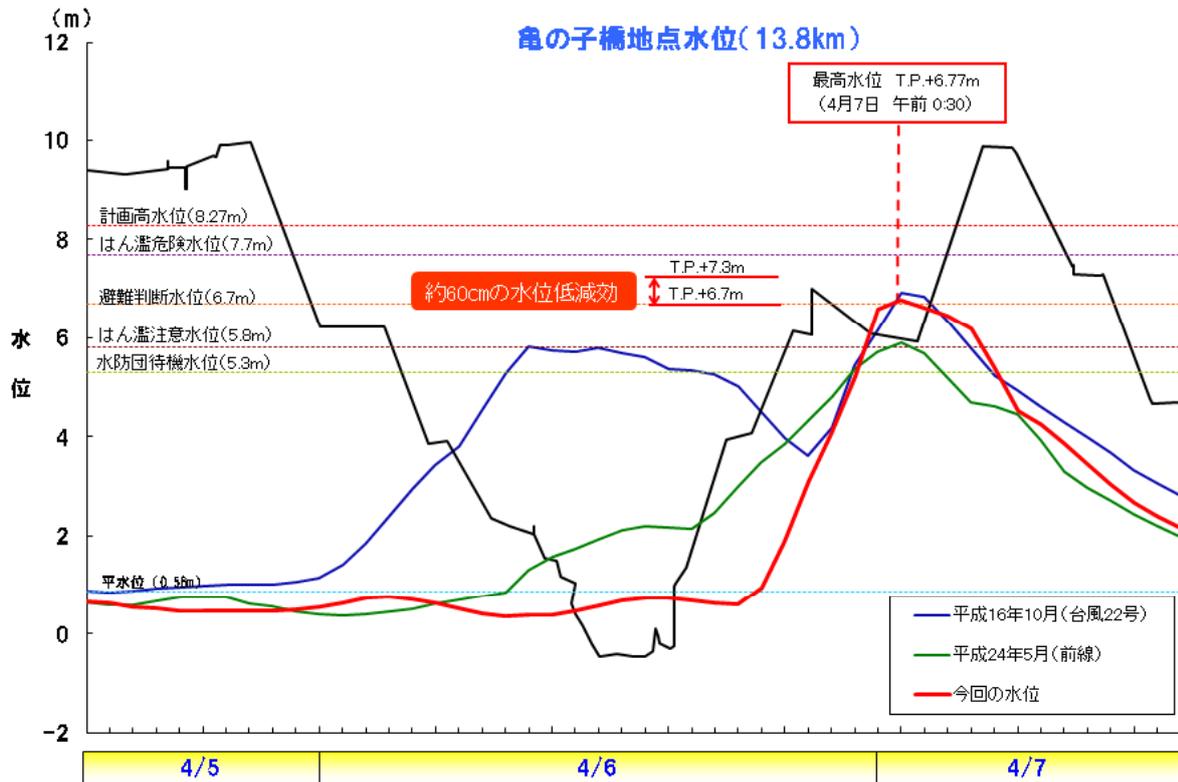
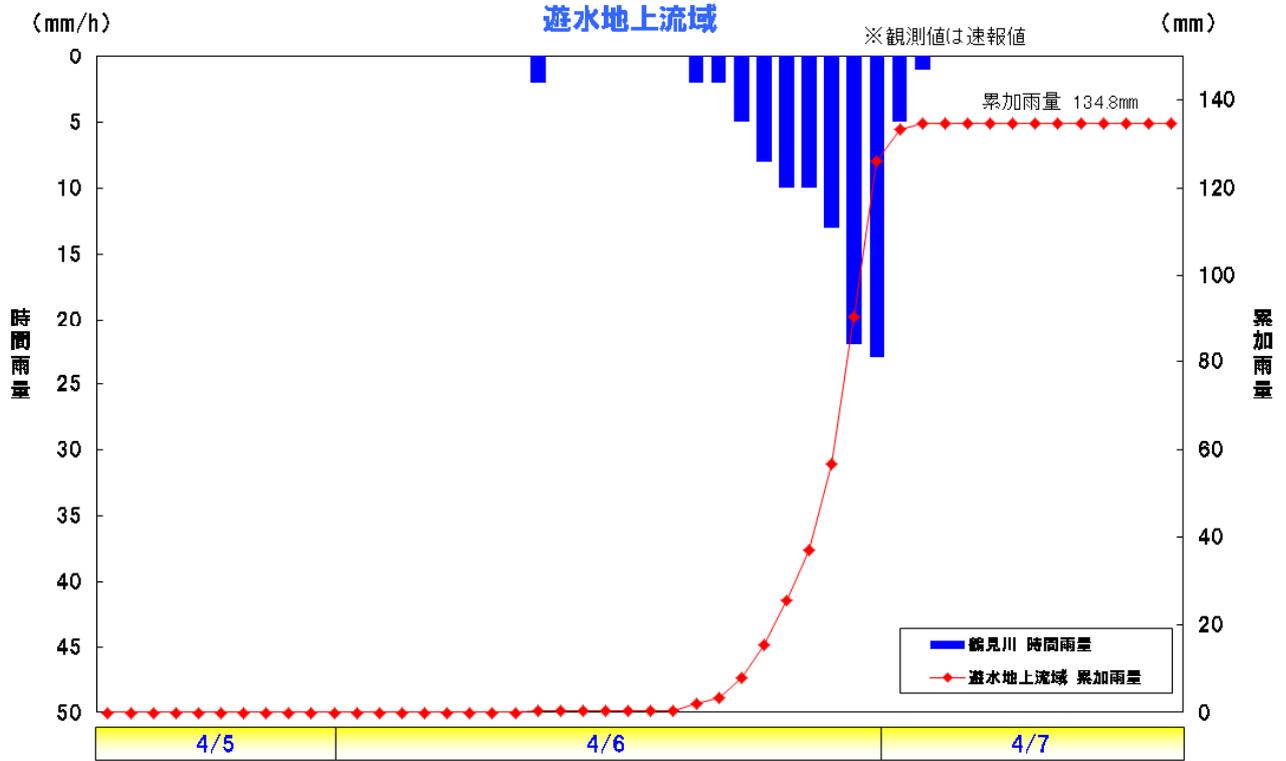
国土交通省 関東地方整備局 京浜河川事務所

副所長 山口充弘 (やまぐち みつひろ) 代表 045-503-4000

流域調整課長 早迫義治 (はやさこ よしはる) 直通 045-503-4009

# 1. 鶴見川

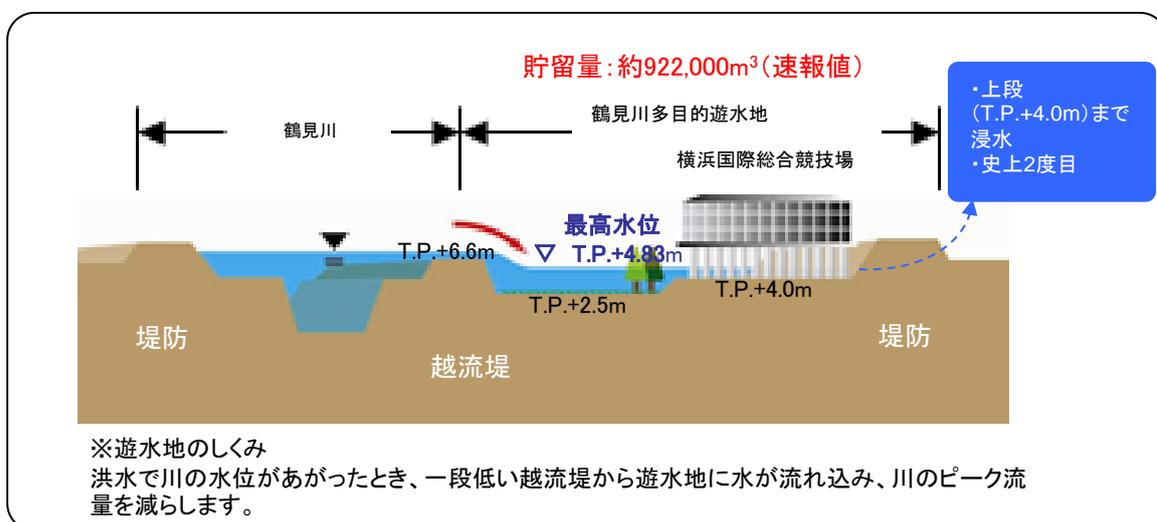
亀の子橋水位観測所における最高水位は、避難判断水位 (TP+6.70m) を越える水位 (TP+6.77m) を記録しました。



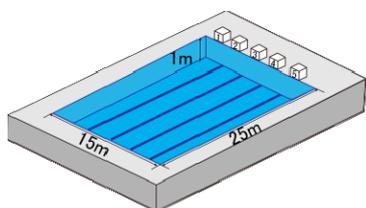


## ○鶴見川多目的遊水地の洪水調節効果

鶴見川多目的遊水地で約922,000m<sup>3</sup>貯留したことにより、下流の亀の子橋地点では、約60cmの水位低減効果があったと推定されます。



鶴見川多目的遊水地では、プール約2,700杯分を貯めることができました。

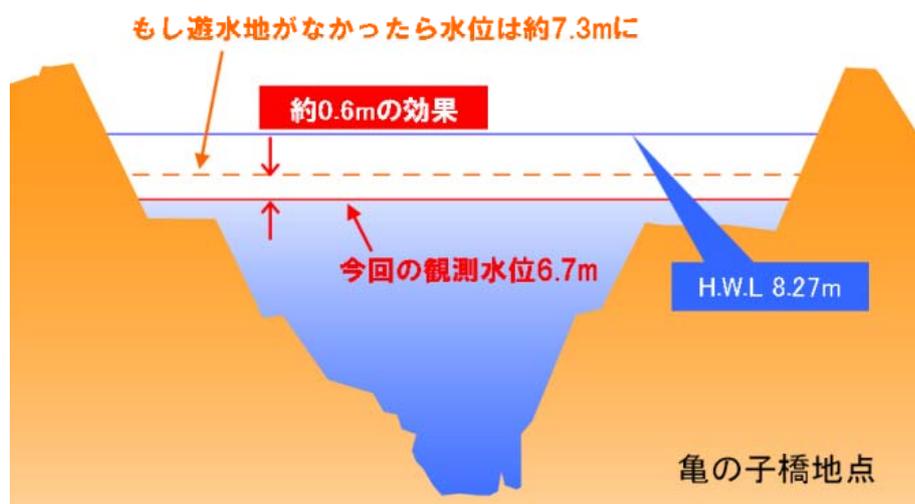


※プール1杯分=約375m<sup>3</sup>

日産スタジアム ピロティの貯留状況



亀の子橋地点の水位低減効果



## ○鶴見川多目的遊水地の流入実績

鶴見川多目的遊水地では、平成15年6月に供用を開始してから 過去、2番目に大きい流入量となりました。

鶴見川多目的遊水地では、これまでに11回の洪水を貯めています。

No	年月日	出水名	流入量
1	平成15年8月15日	前線による豪雨	約7,000m <sup>3</sup>
2	平成16年10月9日	台風22号	約1,250,000m <sup>3</sup>
3	平成16年10月20日	台風23号	約80,000m <sup>3</sup>
4	平成17年9月4日	前線による豪雨	約50,000m <sup>3</sup>
5	平成20年5月20日	前線による豪雨	約9,000m <sup>3</sup>
6	平成20年8月30日	前線による豪雨	約50,000m <sup>3</sup>
7	平成21年10月8日	台風18号	約64,000m <sup>3</sup>
8	平成22年12月3日	前線による豪雨	約62,000m <sup>3</sup>
9	平成23年8月26日	前線による豪雨	約54,000m <sup>3</sup>
10	平成24年5月3日	前線による豪雨	約18,000m <sup>3</sup>
11	平成25年4月6日	低気圧による豪雨	約922,000m <sup>3</sup>

### 3. 鶴見川多目的遊水地洪水調節状況写真

平常時



洪水調節時(4月7日 午前5:00頃)



平常時



洪水調節時(4月7日 午前5:00頃)



## 参考資料

### ○鶴見川多目的遊水地

鶴見川多目的遊水地(総貯水容量390万 $m^3$ )は、鶴見川と烏山川が合流する河口から13.8km地点(横浜市港北区小机町、烏山町)に位置し、多目的遊水地として平成15年6月から共用を開始しています。

